

## 2.4 水質調査

### 2.4.1 調査概要

水質調査は表 2.4.1 に示す日程で実施した。

表 2.4.1 水質調査の実施日

秋季	平成 30 年 10 月 12 日
冬季	平成 31 年 1 月 8 日

朝明川河口部干潟近傍には-7.5mの航路、泊地があり、夏季における下層の貧酸素化と、当該水塊の浅瀬への進入による底生生物への影響が懸念されることから、本調査では、St.1～St.6に加え、-7.5m航路近傍に鉛直連続測定点を設定し、他地点と同様の項目について測定を行った。

St.1～St.6及び、鉛直連続測定点におけるクロロフィル (Chl-Flu)、溶存酸素 (DO)、水素イオン濃度 (pH)、濁度、塩分濃度、水温の現地調査結果を図 2.4.1 に示す。

### 2.4.2 クロロフィル (Chl-Flu)

クロロフィル (Chl-Flu) は、秋季の干潮時に St.3 と鉛直連続測定点の水深 1m 以浅でやや高くなったが、その他の地点では秋季、冬季ともに鉛直的に一様であり、地点間で差はみられなかった。

### 2.4.3 DO

DO は、秋季に各地点で、水深が深くなるに従い低くなる傾向を示した。また、秋季は、各地点の上層で 5mg/L、下層で 3mg/L 程度の低い値となった。冬季は、鉛直的に一様であった。

### 2.4.4 水素イオン濃度 (pH)

水素イオン濃度 (pH) は、秋季、冬季ともに鉛直的に一様であったが、秋季は 7.8、冬季は 8.1 程度と、秋季にやや低くなった。

### 2.4.5 濁度

濁度は、秋季、冬季ともに下層で高くなる傾向がみられ、干潮時により高くなる傾向がみられたが、秋季の St.6 においては、干潮時に表層から下層にかけてやや高くなった。

### 2.4.6 塩分

塩分は、秋季の St.2 (両潮時)、St.5 (両潮時)、鉛直連続測定点 (満潮時)、冬季の St.3 (干潮時)、鉛直連続測定点 (満潮時) の表層においてやや低くなっていた。これは河川水の流入が影響していると考えられる。

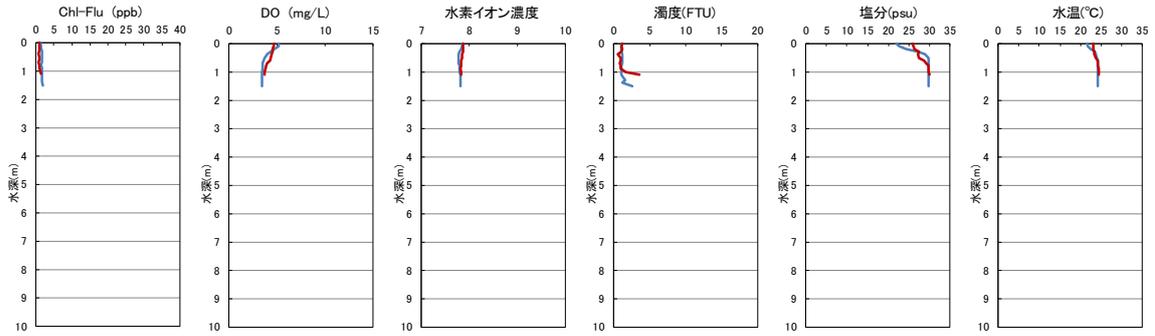
### 2.4.7 水温

水温は、秋季の満潮時に St.5 の表層でやや低くなったが、その他の地点では、秋季、冬季ともに、満潮時におおむね鉛直方向に一様となっていた。

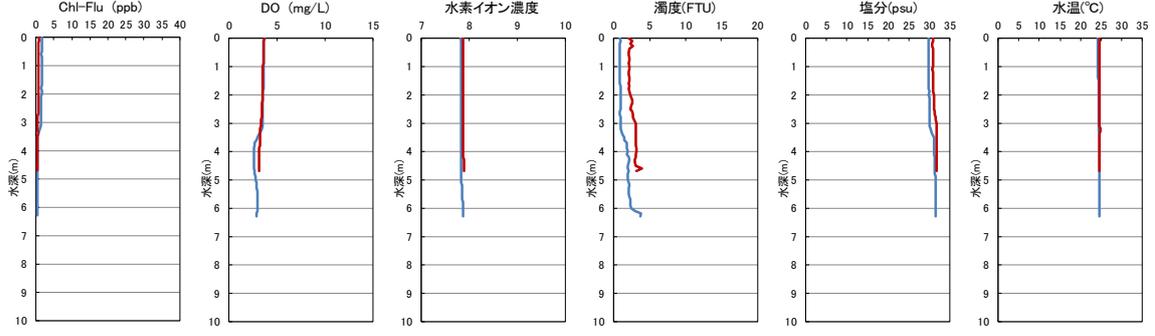


図 2.4.1 (1) 水質現地調査結果(平成 30 年度秋季)

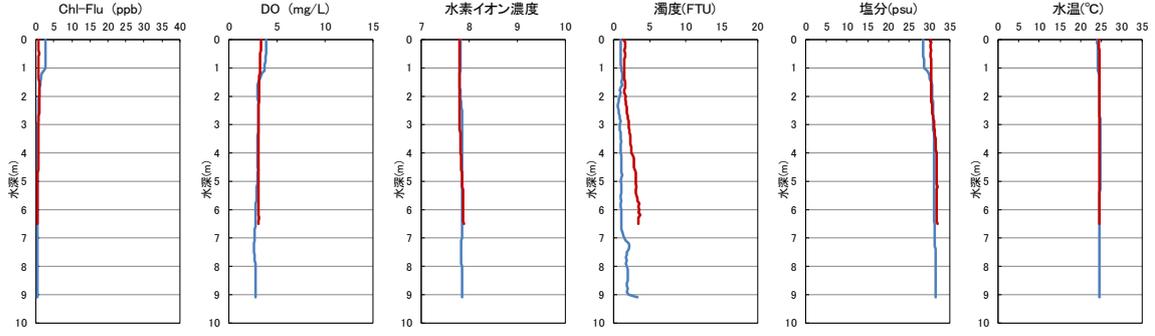
St.5



St.6



鉛直連続  
測定点



— 満潮時      — 干潮時

図 2.4.1 (2) 水質現地調査結果(平成 30 年度秋季)

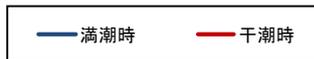
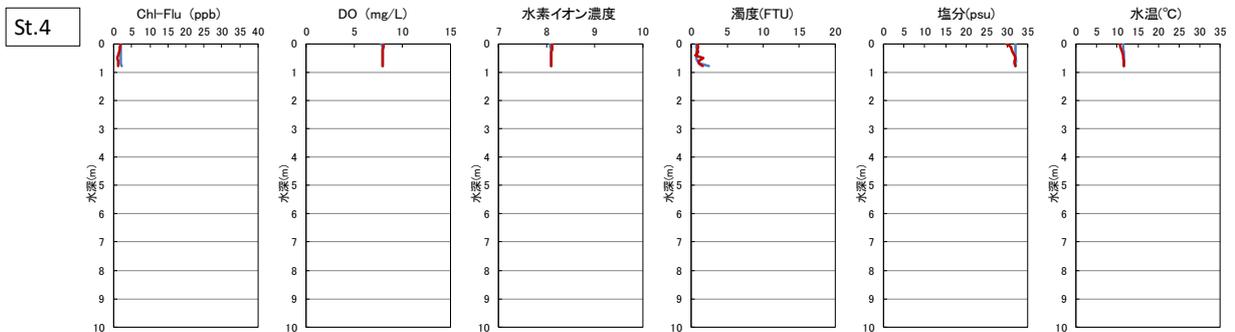
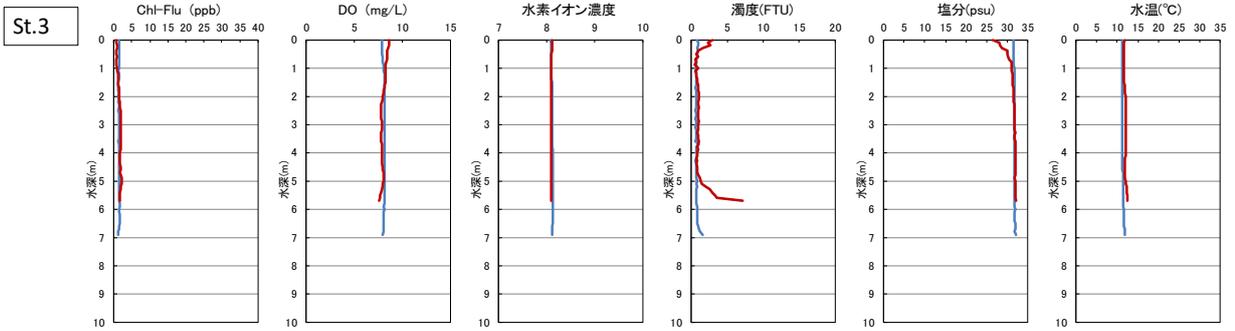
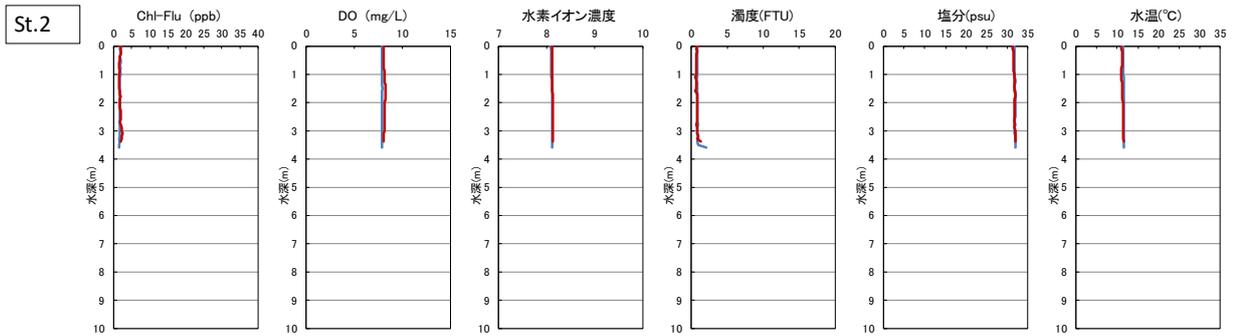
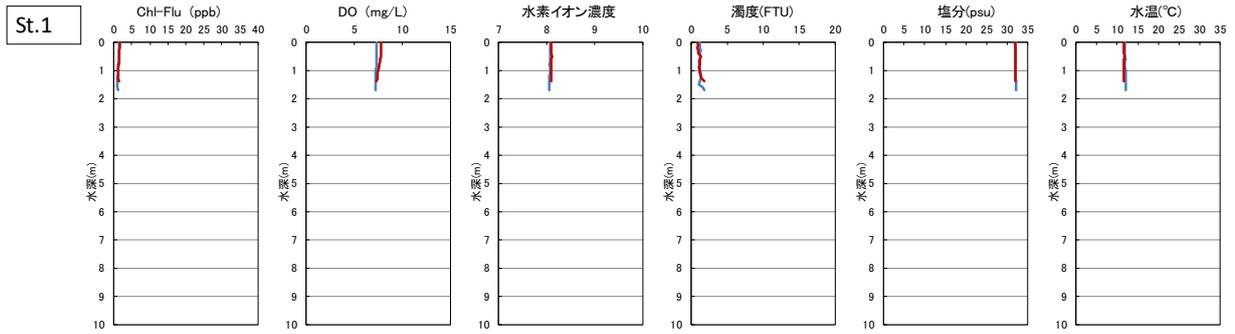
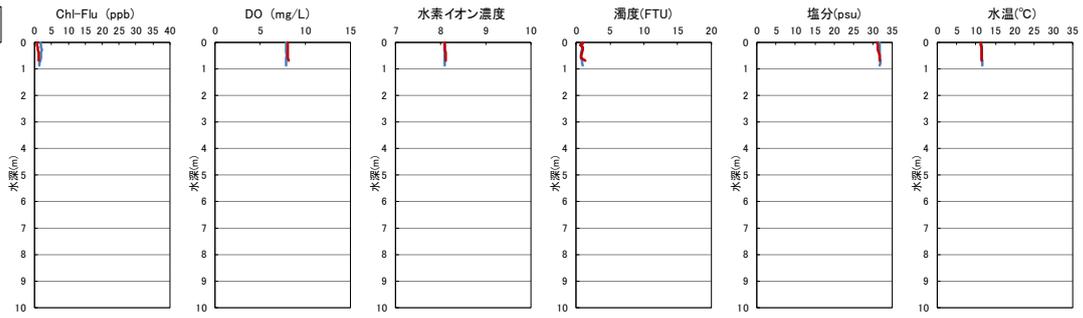
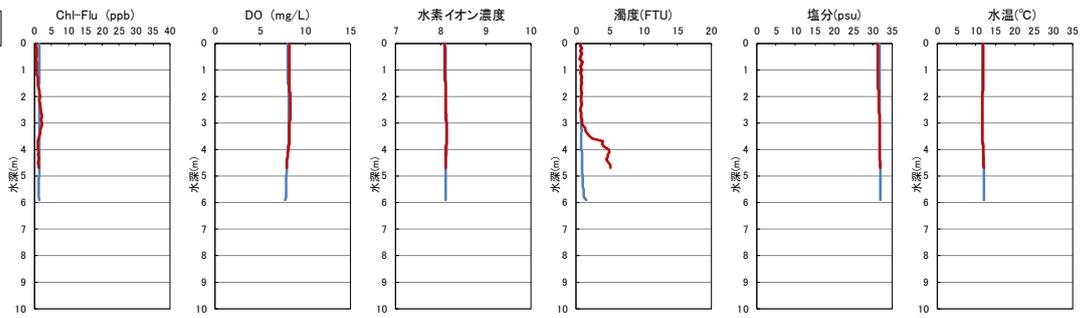


図 2.4.1(3) 水質現地調査結果(平成30年度冬季)

St.5



St.6



鉛直連続  
測定点

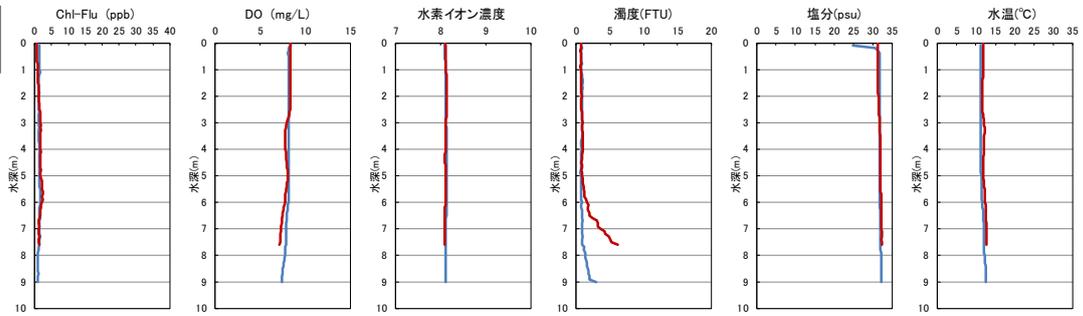


図 2.4.1 (4) 水質現地調査結果(平成 30 年度冬季)